

# 「中野ふるさと学校」

高砂市民センター

## 1 事業概要

震災で失われた「中野・蒲生地区」の良さや特色を未来に残し、広げ、思いを伝え合うさまざまな取組を行っています。これまで、仙台港築港前（昭和33年）と震災前（平成18年）の地形模型図、「蒲生・日和山（震災前）」のジオラマ、日和山周辺の思い出を集めたリーフレットなどを制作してきました。また、日和山登山、学校との連携、交流事業の運営等、地域の諸団体との連携も大切にしながら活動しています。



日本一低い「日和山」頂上で

## 2 今年度の活動

### ○蒲生干潟・日和山周辺の環境保全活動 10月17日（日）

新たな取り組みとして、蒲生干潟・日和山周辺の環境保全を目的とした清掃活動を始めています。来年度からの本格始動に向けての準備も兼ねた活動ですが、清掃の範囲や収集の方法、参加者の募集方法について試行錯誤しながら活動を続けています。清掃活動を通じて蒲生・中野地区の豊かな自然と、かつての暮らしの様子、そして防災・減災について伝えていくことを考えています。次回は2月27日（日）、慰霊祭の前に活動する予定です。



ダーツ交流会

### ○ふるさと交流事業「ダーツ交流会」 11月18日（木）

地域の絆を大切にしながら、心の復興を目指すことを目的として、恒例となっているダーツ交流会を開催しました。会場の体育館には、46名が集まり、久々の再開と新しい出会いにたくさんの笑顔が見られました。参加者の方々は、話の花を咲かせつつも、真剣勝負で汗を流していました。人々の憩いの場の一つとなっています。

## 3 成果と課題

この活動のほとんどは、自主サークル「中野ふるさと YAMA 学校」の皆さんと共に行ってきました。毎月の定例会では、各メンバーが積極的に意見を交わし、事業の企画を行っています。今後も継続して活動を展開していけるように、企画員の学びとスキルアップ、事業の広報も大切にしながら意欲的に進めていきます。



移動学習会（みやぎ東日本大震災津波伝承館）

## 4 今後の展望



地域の歴史を語り継いでいくことに加え、地域の象徴である日和山の環境保全にも取り組んでいきます。地域の子どもたちやボランティアで参加してくださる方に清掃活動を通じて蒲生・中野地区の魅力を発信するとともに、減災・防災について伝えていくことを考えています。また、清掃活動をする他団体と連携し、活動の輪を広げ、故郷を自分たちの手で守る活動を進めていきます。